

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1042	(H.25)No.	1042
-----------	------	-----------	------

事務事業名	生きがい活動支援通所事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	谷本 佳司	

会計区分	事業コード	143501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	生きがい活動支援通所事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	生きがい活動支援通所事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
高齢者等の家での閉じこもりや要介護状態になることの予防を図る。
事業内容
浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室大広間等を利用し、生きがい活動や趣味活動を促進する講座等の開設。平成21年7月より利用料200円/日を徴収。月曜日から金曜日は福祉バスを無料運行。社会福祉協議会と指定管理協定(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室・大広間等を利用し、生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。 (設備の故障に伴う修繕工事) 浴槽タイル目地詰め工事 68千円 ボイラー室温度計修繕工事 63千円 給湯設備改修工事 735千円	浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室・大広間等を利用し、生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室・大広間等を利用し、生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室・大広間等を利用し、生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室・大広間等を利用し、生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	22,165千円	23,024千円	23,024千円	23,024千円	23,024千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 22,165	23,024	23,024	23,024	23,024
人工数					
職員	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 304千円	304千円	304千円	304千円	304千円
①+②総事業費	(0千円) 22,469千円	23,328千円	23,328千円	23,328千円	23,328千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として順調に目標を達成できている。	引き続き委託を行い、委託先との連携により、対象者に対し適切なサービスに努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	高齢者の保健福祉サービスの一翼を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
事業の実施方法や市の負担については今後検討していくが、高齢者の閉じこもりや要介護状態になることを防ぐためにも事業を継続する必要がある。	